



## 体育会結団式から

本年度は、第40回体育会を5月16日（土）に開催する予定です。4月27日（月）には体育会の結団式とブロック発足会がありました。結団式で発表された体育会スローガンは「結（むすぶ）」です。体育会実行委員長の中富さんからは、その設定理由を次のように説明してくれました。



【スローガン「結」】

令和8年度の体育会スローガンは「結」です。このスローガンには、体育会という一つの行事を通して、日常と行事のつながりや、仲間と支えあう、心のつながりなど、さまざまなつながりを強めていきたい、という想いを込めました。

体育会では、個人の力だけではなく、周りを巻き込み、互いに支え合うことも重要になります。一人一人が仲間のために動くことで、学年やクラス、ブロックを越えた団結力が生まれます。この団結力をもとに、全員で支え合い、仲間のために全力になれる体育会を目指します。

「結」と聞いて、みなさんはどんなことを思い描きますか？私たち実行委員が考える「結」は、日常と行事のつながり、仲間とのつながり、心のつながりを大切にして、団結力をより深めていくことです。日常と行事とは、すべての行動に全力になることです。例えば、あいさつや気を付け、礼などの基本的な動きにもメリハリをつけて取り組むことです。仲間は、クラス、学年、ブロックで支え合いお互いを思いやること。そして、強い信頼関係を築き、みんなが同じ熱量で結ぶことを目標にしています。

また、この「結」は、生徒会スローガンである「紡ぐ」ともつながっています。体育会は、1年間の中で最初の大きな行事であり、新しい仲間と出会い、絆を深めていく大切な機会です。その中で紡いでいくつながりや想いを体育会という場でさらに強く“結び”、次へとつなげていくという意味を持たせました。

だからこそ、一つにまとめるのではなく、一人一人の「結び方」を大切にしながら、全体としてのつながりを深めていきたいと考えています。そして、体育会が終わったときにそれぞれが自分の中の「結」をはっきりと表現できるような体育会にしていきましょう。

ご家庭におかれましても、食事や睡眠などにご配慮いただき、全学年で動くこの行事を通して、子ども達の成長を見守っていただけたらと思います。

近隣や地域の皆様には、体育会の練習中、そして本番当日に、生徒たちの一生懸命な声やマイクや音響設備等の使用等で大変お騒がせいたしますことをお詫び申し上げます。

## 「結」の力と、私たちの「ありありなんや」

実行委員長の言葉にあった「一人一人の結び方を大切にする」という考え方は、まさに今の本校に必要な視点です。「結」という漢字の成り立ちを見ると、「糸」と「吉」からできています。「吉」には「固くしまる」「まとまる」という意味があり、バラバラだった糸が一本にまとまり、強い縄や美しい布になる様子を表しています。

ここで、ある偉人の言葉を紹介します。日本資本主義の父と呼ばれた渋沢栄一の言葉です。「一人の力では成し遂げられないことも、多くの人が真心を持って結びつけば、大きな事を成し遂げられる。」この「真心を持って結びつく」ために欠かせないのが、本校が本年度大切にしている合言葉「ありありなんや」の精神ではないでしょうか。

「ありがとう」は、仲間への感謝が心の糸を結びます。「ありのままに」は、自分を飾らず相手を認めることで、素直な絆が結ばれます。「なんとかなる」は、困難な練習も『仲間と一緒になら大丈夫』と前向きな勇気が結ばれます。「やってみよう」は、一人ひとりの挑戦する姿勢が、大きな団結力へと結びつきます。実行委員長が話してくれた「日常と行事のつながり」とは、まさにこの「ありありなんや」を、体育会という特別な場だけでなく、日々の生活の中でどれだけ体現できるかということです。令和8年度の生徒会スローガン「紡ぐ」から、この体育会での「結」へ。太宰府東中学校の生徒たちが「ありありなんや」の精神で、「絆」をどのように編み上げ、感動を呼び起こすのか楽しみます。